
それのおとしもののキャラで脱出ゲームDERO!新大陸発見部VSnot新大陸発見部

カルピスフロート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それのおとしものキャラで脱出ゲームDERO! 新大陸発見部 V
Snot 新大陸発見部

【Nコード】

N5984Y

【作者名】

カルピスフロート

【あらすじ】

新大陸発見部 V Snot 新大陸発見部第1弾! 今回のバトルの舞台は『脱出ゲームDERO!』で対決! (※この小説では、原作にない、作者オリジナルキャラが出ます。オリジナルキャラについては、こちらの小説をご覧ください↓<http://ncode.syosetu.com/n2300v/>)

脱出開始!の前にメンバー紹介! (前書き)

新大陸発見部 V S n o t 新大陸発見部

第1弾のバトルは『脱出ゲームD E R O !』

脱出開始の前にまずはルール説明&チームメンバー紹介。

脱出開始!の前にメンバー紹介!

対戦チーム（これからこのメンバーです。）

新大陸発見部チーム

桜井智樹（以下、「智樹」）チームリーダー

イカロス

守形英四郎（以下、「守形」）

ニンフ

見月そはら（以下、「そはら」）

V
S

n o t 新大陸発見部チーム

相葉真紀（以下、「真紀」）チームリーダー

五月田根美香子（以下、「美香子」）

風音日和（以下、「日和」）

カオス

アストレア

今回の対決のルール

1stステージと2ndステージは爆弾の間、石像の間、遺跡の間、壁の間の中からランダムに選ばれたステージをチームごとに挑戦。各々3人が挑戦して、1人脱出につき脱出ポイント1を獲得。

3rdステージは棒の間で各チーム3人VS3人の直接対決。1人脱出につき脱出ポイント2を獲得。

3つのステージで獲得した合計脱出ポイントの多いチームが賞金10万円をかけて3rdステージに挑戦。脱出することができれば、賞金獲得。

ちなみに、リーダーは全ステージ必ず挑戦しなければならない。そして、優勝したチームは、作者の独断と偏見で、今後の出番が増えます。

脱出開始！の前にメンバー紹介！（後書き）

管理人は、モニターが表示されているときは「」で、表示されていないときは何も無し。

女性ナレーションは、問題が始まった際に表れます。表示はなし。

なぜTORE！ではなくDERO！かというと…

作者「DERO！の方が好きだから。TORE！は普通。」

そして、次回脱出開始！はたして勝つのはどっちだ！

オープニング 管理人登場（前書き）

完全密室からの脱出劇！

そこは映画のクライマックスのような仮想空間！

現実にはありえない驚愕のシチュエーション！

~~~~~

奈落の底へ垂直落下！

智樹「全然分からん…」

そはら「キャー！！」

~~~~~

密室に仕掛けられた時限爆弾！ 起爆装置を解除せよ！

守形「（プチン（切断）」

智樹「ちょっと！守形先輩！」

~~~~~

襲いかかる石像！食べられる前に謎を解け！

真紀「ヤバい！来てる！」

~~~~~

脱出の道はただ一つ！部屋に潜む謎を解き、密室の扉をその手でこじ開けろ！

美香子「…」

真紀「え！？　　ウソでしょ！」

こんな番組見たこと無い！密室謎解きバラエティ！脱出ゲームDE

RO!

オープニング 管理人登場

管理人「皆さんようこそDERO!の世界へ。」

真紀「あっ管理人だ。」

管理人「今回のDERO!は、新大陸発見部VSnot新大陸発見部の対抗戦になってます。

新大陸発見部チームは、賢そうな人が結構いますね。約1名を除いてねえ…」

そはら「智ちゃんのことだね。」

ニンフ「まあトモキが足引っ張らなきゃいいけどね。」

智樹「お、俺のことかよ!っていうかなんで俺が新大陸発見部チームになってるんだよ!

俺部員じゃねーぞ!」

管理人「ええ、そうなの(半笑)」

智樹「100歩譲って部員だったとしてもなんで俺がリーダーなん

だよ！

ココは普通部長である守形先輩がやればいいだろ！」

美香子「だって桜井くんが原作の主人公だからリーダーでしょ？
もし主人公辞めるんだったらリーダーも辞めていいけど？」

管理人「じゃあ智樹くんはそれでいいですか？」

智樹「・・・やっぱりリーダーやるよ。」

管理人「やっぱそこは素直に主人公がいいんだね。
対するnot新大陸発見部チーム。リーダーは誰ですか？」

真紀「私です。」

管理人「・・・えーっと、なんで認知度の無いオリキャラがリーダー
なんですか？」

カオス「ちなみに本編のアクセス数は？」

管理人「本編は11月14日現在で8110アクセスです。」

日和「なら大丈夫ですね。」

真紀「・・・良かった。」

管理人「それでは、今回の対決のルールを説明しましょう。」

今回の対決のルール

1stステージと2ndステージは爆弾の間、石像の間、遺跡の間、壁の間の中からランダムに選ばれたステージをチームごとに挑戦。各ステージ3人が挑戦して、1人脱出につき脱出ポイント1を獲得出来る。

3rdステージは棒の間で各チーム3人VS3人の直接対決。1人脱出につき脱出ポイント2を獲得出来る。

管理人「3つのステージで獲得した合計脱出ポイントの多いチームが賞金をかけて3rdステージに挑戦。脱出することができれば、なんと、賞金10万円を差上げます！」

アストレア「10万円!？」

智樹「金が出るのか…こうなりゃ全ステージ脱出してやる！」

管理人「それでは、みなさんの幸運を祈ります！」

オープニング 管理人登場（後書き）

次回、新大陸発見部チームが爆弾の間に挑戦。

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 (前書き)

まずは新大陸発見部チームが挑むファーストステージは？

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間

LOCKED LOOM

1stステージ 爆弾の間

挑戦するのは、チームリーダーの桜井智樹、守形英四郎、イカロスの3人。

3人は、爆弾が仕掛けられた別々の部屋のダクトに入れられた。

（ガチャン（脱出口のロック）

ナレーション「目隠しを、外してください。」

智樹「何だココ狭いぞ！」

イカロス「マスター… どこですか？」

その時、モニターから・・・

管理人「みなさんようこそ爆弾の間へ。」

守形「爆弾か…奇怪なステージだ。」

イカロス「あの…マスターは？」

管理人「仲間との会話はその通信機が使えるからちゃんと確認してね。イカロスちゃん。」

イカロス「もしもし、マスター聞こえますか？」

智樹「おおイカロス。お前もこんな感じで入れられてんの？」

イカロス「はい。ご無事ですか、マスター。」

管理人「…あの、守形先輩をほったらかしにしないでください。」

智樹「あっそうだった！守形先輩聞こえます？」

守形「守形だ。聞こえてるぞ。」

管理人「この3人は、ものすごく全員脱出の可能性が見えるメンバーだね。」

智樹「それはどうも」

管理人「お前は入ってねえ！」

管理人「やっぱりここは新大陸発見部の部長が引っ張ってあげないといけないですよ。」

守形「こういう危機的状況に置かれてるのは慣れているからな。」

管理人「なるほど心強い！」

管理人「それでは、この部屋から脱出するためのルールを説明しましょう。」

爆弾の間 ルール

この部屋から脱出するには、爆弾につながっている3つの起爆装置を解除しなければならぬ。

問題の正解と同じ色のコードを手元のニッパーで切れば解除成功。

ただし、間違ったコードを切ってしまうと、その部屋の小型爆弾が爆発し、仲間が一人ずつ減っていく。そして、全滅した時点で脱出失敗となる。

実はこれまでアニメでは2度の爆弾解除を行っており、その成績は1勝1敗。

管理人「それでは、頑張ってくださいねー。バイバイ。」

ピッ（モニターが切れる。）

ウィーウィーウィーウィーウィーウィーウィー

智樹「何だ？」

「脱出開始」

その時、モニターに：

08..00..000

守形「8分か…」

ピーッ

07..59..000 ピピッ

07..58..000 ピピッ

07..57..000 ピピッ

爆破タイマーが、作動しました。

第1の起爆装置を、解除してください。

（起爆装置が1人ずつにせりあがってくる。）

智樹「これが起爆装置か！」

守形「OPENか。。。ん？こっちは黄色のコードだ。」

イカロス「私は青です。」

智樹「俺は赤色1本だけ。」

LEVEL1の問題です。

「第1問 次の 県の中で、もっとも人口がすくない県を切れ！
2011年10月1日）『wikipedia』調べ」

「赤：鳥取県 青：山口県 黄：鳥取県」

智樹「え？どれだ分かんねえよ俺。イカロスとか分か…」

守形「（プチっ（切断）」

2人「え!？」

なんと、相談無しに勝手に黄のコードを切断！不正解なら守形英四郎の部屋のみ爆破！はたして…

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 (後書き)

相変わらずスロー更新ですいません。

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 part2 (前書き)

守形英四郎勝手に黄色を切断！不正解なら守形英四郎の部屋のみ爆破！はたして…

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 part 2

「第1問 次の 県の中で、もっとも人口がすくない県を切れ！（2011年10月1日）『wikipedia』調べ」

「赤：島根県 青：山口県 黄：鳥取県」

智樹「え？どれだ分かんねえよ俺。イカロスとか分か…」

守形「（プチッ（切断）」

2人「え！？」

なんと、相談無しに勝手に黄のコードを切断！不正解なら守形英四郎の部屋のみ爆破！はたして…

正解

「×赤…島根県…712, 336人 ×青…山口県…1, 442,
448人 ○黄…鳥取県585, 475人」

智樹「おおー！すげえ先輩！」

守形「これぐらい朝飯前だ。」

なんと！何の相談もなしに切断し、正解！これは全員脱出。はたま
た史上最速脱出もありえる！

第2の起爆装置を解除してください。

3人「（カチャカチャカチャ）」

イカロス「私…青です。」

守形「俺は黄色だ。」

智樹「俺は赤です。2問目も一緒のようだな。」

LEVEL2の問題です。

「次のコミックスのうち、もっとも値段の安い色のコードをひとつ切れ！（1巻の値段を税込に換算）」

「赤…ボボボーボ・ボーボボ（集英社）」

「青…スーパーマリオくん（小学館）」

「黄…そらのおとしもの（角川コミックス）」

智樹「え！？何これ？」

守形「こればかりは分かん…。」

この3つのマンガはすべて作者のお気に入り！1つ1つ出版社が違
うから注意して選べ！

守形「智樹分かるか…」

智樹「分かんないですけど、そらのおとしものって先輩も買ったこと
ありますよね？
そんな時の値段って覚えてます？」

守形「その時は空美書店で買った時は567円だったな。」

智樹「ちょっと高くないですか？」

守形「そうだな。」

智樹「だからそらおとは違うんだと思います。」

守形「俺もそうだな。」

イカロス「私もマスターに同意です…。」

智樹「じゃあ赤か青…イカロスはどっちだと思う？」

イカロス「私は…青のスーパーマリオくんが安いと思います。」

智樹「なんで？」

イカロス「小学館が出版してるから、子供向けに発売するとしたら安くしないといけないからです。」

守形「確かにそうだな。」

智樹「じゃあイカロス切る？」

イカロス「では、青の、スーパーマリオくん。切ります……………」
プチっ」
(

今度は全員の意見を合わせ、青を選択！はたして…

正解

「赤..ボボボーボ・ボーボボ 409円 青..スーパーマリオくん
390円 黄..そらのおとしもの567円」

智樹「さすがイカロス！」

守形「見事な推理だったな。」

イカロス「(…マスターに…ほめられた…?)」

イカロスの見事な推理で第2問も突破！残りタイムはあと4..57..
00！時間は問題なし！
このまま全員脱出なるか？

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 part 2 (後書き)

第2問は作者の好きなコミックスを問題に出しました。

次回、最終問題！全員脱出なるか！！

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 part3 (前書き)

管理人が、モニターで出ているときは、管理人「」と表示。

それ以外は、無印で表示。

女ナレーションは、『』で表示されます。

最終問題！無事に全員脱出するか！

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 part3

『第3の起爆装置を解除してください。』

3つ目も前と同じ、智樹は赤、イカロスは青、守形は黄となっている。

智樹「コレ絶対全員脱出出来るぞ！」

『LEVEL3の問題です。』

「次のうち、2貫のカロリーがもっとも高い寿司を1つ選んで切りなさい。（スシロー調べ）」

「赤…サーモンチーズ 青…メサバ 黄…焼とろサーモン」

日和「（それって理由にならないんじゃない？）」

[illegible]

智樹「でも、普通考えたら、チーズを使ってるし、サーモンチーズがカロリー高いんじゃないか？」

守形「フム、確かに乳製品を使ってる、しかも高脂肪だ。」

イカロス「私もマスターの赤で……」

智樹「俺か？じゃあ赤のサーモンちーず切るぞ！」

イカロス「マスターと一緒に脱出しましょう！」

智樹「（ググっ・・・なかなか切れない　（プチンっ　切れた!」

チーズを使っているサーモンチーズが高カロリーと予想! 正解なら
夢の全員脱出!

しかし、間違えれば桜井智樹の部屋だけ爆破! はたして…!

（プシューーーー）

智樹「あああああああああああつ！」

守形「何い！」

イカロス「！！マスター…」

『桜井智樹さん。脱出失敗です。』

意見が全員一致したにも関わらず不正解で全員脱出ならず！桜井智

樹 脱出しっぱい。

残るはイカロスと守形英四郎2人だけ！はたして、カロリーが高いのは、
メサバか？

焼とろサーモンか？

イカロス「ということは焼とろサーモンじゃ…」

守形「いや、待てよ、確かにとろと聞いて高カロリーなイメージが高い。
しかし焼く（炙る）ことでカロリーが落ちるかもしれん…しかしメサバも高いとは思えないが。」

ここにきて、あの天才守形英四郎も分からない！

守形「メサバの昆布が意外とカロリー取るかもしれないが…イカロスはどっちだと思う。」

イカロス「私は…」

ここに来て、大幅なタイムロス！時間は刻々と過ぎ、ついに脱出失敗まで

2..00..00

1..59..00

1..58..00

2分を過ぎた！はたして正解を導きだせるのか！

イカロス「私はメサバだと思っんです。」

守形「なぜだ？」

イカロス「…アストレアがそれを好んで食べるということは、意外とカロリーが高いのではないかと…」

守形「なるほど…動機は不純だが、それしかない。イカロス、切断してくれ。」

イカロス「はい……………（プチンっ）」

迷った挙句、青のメサバを切断！はたして、イカロスの運命は…

ピ	0	0	0	1
ー	1	1	1	..
っ	..	..	..	2
	2	2	2	3
	0	1	2	..
	..	..	..	0
	5	0	0	0
	4	0	0	

脱出成功

『脱出成功おめでとうございます。脱出口から、脱出してください。』

「×赤..サーモンチーズ125kcal ○青..メサバ133kc
al ×黄..焼とろサーモン88kcal」

[illegible]

「アストレア、
メサバ当たった！」

[illegible]

守形「フッ。少し苦戦したが、どうってことはない。」

イカロス「でも…マスターが・・・」

ピーっ (ガチャン (脱出口のロック解除))

リーダー桜井智樹は案の定爆発したものの、チームワークと推理で
2人脱出成功！
新大陸発見部チーム 2ポイント獲得！

1stステージ 新大陸発見部チーム 爆弾の間 part3 (後書き)

モニタールーム

3人「ただいま。」

そはら「惜しかったねトモちゃん。」

智樹「俺だけ脱出失敗か…でも最後は難しかったぞ。」

真紀「アストレアは最後の問題正解してたよね!」

智樹「何い!?!」

アストレア「もちろん分かっていたよ！食べ物の問題ですから！」

ニンフ「トモキは何問ぐらい分かったの？」

智樹「…どれも分かんなかった。」

管理人「いやゝ全員脱出とはなりませんでしたが、大健闘でした！」

守形「脱出出来ない方がおかしいもんだ。」

管理人「そんなことって結構迷ってたけど？」

守形「それは意見を尊重しなければとな。」

管理人「しかし1問目見事、開始20秒で正解という快挙を成し遂げました。素晴らしい！」

守形「褒められるほどでもない。」

1st ステージ 新大陸発見部チームが2ポイント先取！
次回、後攻のnot新大陸発見部チームが、石像の間に挑む！

1stステージ not新大陸発見部チーム 石像の間 (前書き)

後攻、not新大陸発見部チームが挑むステージは？

1stステージ not新大陸発見部チーム 石像の間

LOOKED LOOM

1stステージ 石像の間

挑戦者は、リーダーの相葉真紀、そして、クイズに少し難があるア
ストレア。
そして注目は、クイズの実力未知数なカオスの3人。

— i n f o r m a t i o n —	—	—	—
— 長さ…18m —	—	—	—
— 高さ…150cm —	—	—	—

細長い部屋の奥には不気味な石像が。そして、3人には、足かせを
はめられ、動きを制限された！

この部屋のカギを握るのは直感力！石像を前に平常心を保てるのか！？

（ガチャンっ （↑脱出口のロック）

『目隠しを外してください。』

カオス「ここどこ？」

アストレア「！！後ろ石像ありますよ！」

2人「ホントだ！」

（ピッ （管理人登場）

管理人「ようこそ石像の間へ。」

管理人「後ろには恐怖の石像が待ち構えています。怖いでしょ、カオスちゃん。」

カオス「…そんなに。」

管理人「せっかく作ったのに…（しゅん）クイズの方は自信はある？」

カオス「ある！ぜったいだっしゅつする！」

管理人「元気があっていいね？」

管理人「では、この部屋から脱出するためのルールを説明しましょう。」

「この部屋から脱出するには、石像につかまる前に3つの扉を開け、石像停止ボタンを押せば脱出成功
赤い色のデッドゾーンに石像が到達すると、全員石像に引きずり込まれる。」

管理人「ちなみに、石像の鼻を押すと、押した人が犠牲になる代わりに、生き延びるための時間を」

稼ぐことが出来ます。」

真紀「これが凄い重要だからね。」

管理人「では、幸運を祈ります。バイバイ。」

(ピッ (モニター消去))

『それでは、うつ伏せに寝てください。』

真紀「よし、2ポイント取られてるから頑張らないと。」

アストレア「うつ伏せってこうですか？」

真紀「それ仰向けだから逆に背中を後ろにしないと…」

ウィーウィーウィーウィーウィーウィーウィーウィーウィーウィー

『移動まで』

アストレア「え！？まさかあの前まで？」

カオス「こわいよ…」

3

2

1

0

(ギューン
[移動]

3人「わーーーー！！！」

真紀「止まった…」

カオス「いっきに石像の前まできてる…」

アストレア「擦れて痛いです…」

石像「ウォー…ン」

真紀「うわ、目が光った。」

石像「（プシュー）」

アストレア「！鼻息が冷たい！」

「脱出開始」

カオス「石像くるよ！」

真紀「ヤバイ。急がなきゃ！」

3人は第1の扉へと急ぐ。

「デッドゾーンまであと」

「4m00cm」

脱出劇が始まる…

作者「ちなみに、小説での日和は、エンジェロイドではなく、普通の人間です。」

日和「何ですか？」

作者「棒の間やるときにエンジェロイドだったら、圧倒的に有利だし、人数が足りなかったから。」

真紀「今で棒の間のメンバー少しバレちゃったじゃん。」

作者「あ……ま、いいや。」

1st ステージ **not** 新大陸発見部チーム 石像の間 **part 2**

「第1の扉、さかさ言葉クイズです。片方から読むと、食材。逆から読むと、珍しい食材となる3文字の言葉を入れなさい。」

ちしわこ

いみくん

カオス 「りょうほうたべもの？」

真紀 「アストレア分かる？」

アストレア 「え〜と… 「ちくわ」 ？ （ポチッ）」

×ブーッ

アストレア 「違いますか…」

カオス 「いわし…かなあ （ポチッ）」

×ブーッ

真紀 「なんだろう。」

アストレア「みんち…は？」

真紀「みんち・・・あつ珍味とミンチだ！（ポチッ）」

○♪ピンポン

正解 みんち

↓ミンチ 珍味↑

アストレア「おお！さすが！」

カオス「おねえさま凄い！」

第1の扉が開く。

真紀「よしっ次いこう。」

「デッドゾーンまであと」

「6m23cm」

『第2の扉、穴埋めクロスクイズです。上下左右、4つの言葉をが出来るように四角を埋めなさい。』

て ん ←
かん ↓ □ □ ↓ こう
← き ん

ひたわん
いばさひ

真紀「簡単そうでわかんない。」

カオス「たん は？」（ポチッ

×ブーッ

アストレア「ぱい とかどうですか？」（ポチッ

×ブーツ

何度も考えるが、答えが一向に出ない。と、その時！

「DANGER」(ピーピー！)

真紀「うわ、何？」

『石像が、デンジャーゾーンにたどり着きました。』

石像が黄色のデンジャーゾーンに到達！赤色のデッドゾーンにまであと80cm！
早くしないと全員飲み込まれるぞ！

真紀「誰行く？」

アストレア「私が行きます！」

カオス「いいの？おねえさま。」

アストレア「私がいても答えられそうに無いので。」

真紀「じゃあお願い！」

アストレア「鼻押します！（ポーン）」

「身代り」（プシューーーー

アストレア「後は頼みますよ。」

真紀「アストレアの分まで頑張るから。」

（ギューーーン

アストレア「キャーーー！」

カオス「あーおねえさま…」

真紀「行っちゃった…」

（プシューー）

石像「ウォー……ン」

『アストレアさん。脱出失敗です。』

自分は戦力にならないと考え、潔く散ったアストレア。無念の脱出失敗。

しかし、アストレアの身代りで石像との距離が3 m離れた！

真紀「ヤバイ。考えないと。」

カオス「さい は？」

真紀「さい：関西、天才、最高、最近 ホントだ！（ポチッ）」

○ ピンポンっ

て ん

関西 ← 最高

かん↓さい↓こう

最近 ← 最近

き ん

カオス「やった！」

真紀「カオス凄いね。」

第2の扉が開く。

真紀「これが最後か。」

『第3の扉を開けるには、有名人名前並び替えクイズに3問正解しなければなりません。』

カオス「3もんはながいね・・・」

「第1問 すべての文字を使い、声優の名前になるように並べなさい。」

のいりずみお

カオス「のいりずみお？」

真紀「難しいな…声優とか分かんないし…ヤバい。石像近い。」

「デッドゾーンまであと」

「5m21cm」

カオス「…あ、分かった。のみずいおり・・・野水いおりさん！（

ポチッ」

○ピンポンっ

野水いおり（そらおとではC.V. ニンフを担当。）

真紀「おお！」

カオス「声優はとくいだからね。」

「第2問 すべての文字を使い、芸人の名前になるように並べなさい。」

やわしばかすまやさ

真紀「9文字の芸人？」

カオス「何も分かんない…」

真紀「ヤバイヤバイヤバイ。」

残るはあと2問！はたして、石像に食われる前に脱出出来るのか！？

1stステージ **not**新大陸発見部チーム 石像の間 **part 2**（後書き）

「デッドゾーンまであと」

「3m16cm」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5984y/>

そらのおとしものキャラで脱出ゲームDERO!新大陸発見部VSnot新大陸発見部

2011年12月1日16時45分発行